

見積参考資料

工事名 富崎墓地地内広場整備工事

- 1 本見積参考資料は、積算数量及び任意仮設の積算内容を示したもので、請負契約上の拘束力を生じるものではなく「設計図書」とはならない。

よって、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。

2 設計金額の表示単位

本工事の設計金額の表示単位は、以下のとおりとする。

項 目	数値処理	単位（円）
1. 施工代価表	1 円未満切り捨て	円止まり
2. 直接工事費	—	円止まり
3. 処分費等控除額	1 円未満切り捨て	円止まり
4. 共通仮設費積上げ分	—	円止まり
5. 共通仮設費率分	千円未満切り捨て	千円止まり
6. 純工事費	—	円止まり
7. 現場管理費率分	千円未満切り捨て	千円止まり
8. 工事原価	—	円止まり
9. 一般管理費等	工事価格が万円単位になるように、10,000円未満を端数調整	円止まり
10. 工事価格	—	万円止まり
11. 消費税相当額	—	円止まり
12. 請負対象工事費	—	円止まり

3 積算条件

本工事は、下記の条件で積算を行っている。

① 資材単価適用年月 令和 8年 9月

「岡山市公共工事設計資材単価表」は、以下の方法で確認できます。

a)閲覧される場合

岡山市役所 本庁2階行政事務管理課情報公開室

b)ホームページより閲覧

<https://www.city.okayama.jp/jigyosha/0000004448.html>

上記ページの「岡山市公共工事設計資材単価について」に掲載しております。

② 「土木工事市場単価」及び「土木工事標準単価」適用年月 令和8年7月

※ただし資材単価適用年月が「令和8年5月」以降のものは、一部の市場単価で令和8年1月を適用しているものがあるため、以下の方法で確認をお願いします。

a)閲覧される場合

岡山市役所 本庁2階行政事務管理課情報公開室

【岡山市 公共工事設計資材単価表 令和8年5月】に「土木工事市場単価及び土木工事標準単価の適用について」を掲載しております。

b)ホームページより閲覧

<https://www.city.okayama.jp/jigyosha/0000004448.html>

上記ページに「土木工事市場単価及び土木工事標準単価の適用について」を掲載しております。

- ③ 積算基準書年版 令和7年度 土木工事標準積算基準書（岡山市）
 閲覧される場合
 岡山市役所 本庁2階行政事務管理課情報公開室

- ④ 間接工事費
 土木工事標準積算基準書

間接工事費の工種区分	公園工事
間接工事費 の施工地域補正区分	☐ 市街地（DID補正） ☐ 一般交通影響有り（1） ☐ 一般交通影響有り（2） ☐ 山間僻地及び離島 ☒ 該当なし（補正なし）

- ⑤ 一般管理費等

前払金支出割合	35%を超えるもの
契約保証の方法	金銭的保証

上記積算条件は、当該工事の許容価格算出のために使用した条件であり、入札の公平性並びに円滑化を図るため示したもので、入札者の判断基準等を拘束するものではない。よって、上記記載の条件は、入札者の判断基準と相違する場合であっても変更の対象としない。

4 資材価格

（1）決定単価

本工事は、下記のとおり実勢取引価格調査及び見積り等に基づき決定した価格を使用している。

名称	規格	単位	単価(円)	備考
ギンバイカ	H=0.3 W=0.3	株	1,220	
案内サイン(材料費)	H1562×W606 積算樹脂 SSP-A0606 相当品	枚	118,000	記載内容は 図面のとおり
案内サイン(設置費)		箇所	3,039	
歩車道境界ブロック	1号縁石工 C型 H=300×L600(両面R)	個	3,030	エコ認定製品
歩車道境界ブロック	2号縁石工 出入口用ブロック 両面R H=100	個	2,550	エコ認定製品
パーキングボンド アスファルト舗装用	1缶20kg	缶	8,900	
擬木 四阿(BR-2)	材料費	基	1,630,000	
組立工事費	擬木 四阿(BR-2)	基	296,700	
屋根工事費	擬木 四阿(BR-2)	基	199,360	

立水栓 材料費	三協アルミ K1N型 同等品以上	基	103,000	
立水栓 設置費	三協アルミ K1N型 同等品以上	基	34,800	
既設立水栓撤去	運搬費 含	基	13,200	
金属くず処分費	立水栓撤去	式	1,000	

※消費税は含まない。現場着価格である。

5 その他

- (1) 施工代価表 第0-0001号表、第0-0006号表、第0-0007号表、第0-0008号表、第0-0011号表、第0-0022号表、第0-0025の諸雑費(%)は、単位当たりの金額が有効数字4桁になるように「材料費+労務費+機械経費」の合計金額の植栽割増の率以内で端数を計上している。
- (2) 施工代価表 第0-0003号表の小型バックホウ(賃料)の金額につきましては、長期割引を行った金額を採用している。
- (3) 施工代価表 第0-0004号表の諸雑費(%)は、単位当たりの金額が有効数字4桁になるように労務費、材料費の合計金額の4.0%以内で端数を計上している。
- (4) 施工代価表 第0-0005号表、第0-0011号表、第0-0024号表の歩掛は平成21年植栽基盤整備技術マニュアル(発行 財団法人 日本緑花センター)を準用し、土壌改良材・肥料使用量については【無機質土壌改良材 パーライト(リットル) 客土量の20%】、【有機質土壌改良材 バーク堆肥(kg) 客土量の15%】、【肥料 緩行性固形肥料(g) 3:6:4】を採用し単位当りに換算、1円未満切捨てをしている。
- (5) 施工代価表 第0-0008号表の歩掛は見積を採用している。
- (6) 施工代価表 第0-0025号表の張芝工について、不足土運搬は目土として5mm篩い真砂土を採用している。【(株)フジモト運搬距離 L=33.9km】
- (7) 施工代価表 第0-0037号表、第0-0038号表、第0-0039号表、第0-0040号表の「溶融式区画線」については重複施工ロス分(20%)を数量で計上済みである。
- (8) 施工代価表 第0-0063号表の歩掛は見積を採用している。
- (9) 施工代価表 第0-0065号表、第0-0066号表、第0-0067号表の歩掛は【令和7改訂版 水道事業者実務必携】を採用している。